

井土靈山 いんど ねいざん 漢詩人。安政六年陸奥國生れ、昭和十年七月二十一日歿（一八五九—一九三六）。譯經重、字子常。別號靈山仙史、靈山外史、馮陵居士。錦織晚香の就き漢學を修めり。上京して新聞記者となる。のち雜誌『書道及書道』編輯に従事、廢刊後譯藝社を興して雜誌『詩書畫』を創刊した。詩は國分香崖の師事した他、書畫のことも通じた。

『書書』 全世界の書 用ゆる 滿洲書籤策『明治二十八年五月二十日清水書店』

『大谷根山』 おほいはにねやん 『明治四十一年八月十七日丸山全書精部』 註 『詩蒙求通解』

『解』 『明治四十二年七月二十日台崇文館』 註 『雄八將論』 『明治四十二年十一月二十日台崇文館』 註 『作詩大成』 『明治四十四年一月二十日台崇文館』

『情聲詩存』 『結城琢編註・井土經重補輯』 大正四年

『二月二十八日結城琢刊』 註 『詩書實習法—附假名』 『昭和二年十月二十八日—松堂書店』 等。

